

2026年度勤務医の負担軽減及び処遇改善に資する計画書

当院では病院勤務医の負担軽減策の一つとして医師事務作業補助者を配置するとともに、多職種協同によるチーム医療も不可欠であることから病院全体で下記のような取り組みを行っています。

部署名	項 目	具体的な取り組み内容
外来	1.受診時の予診・問診の補助 2.検査、入院説明の補助 3.定期検査(採血・心電図・胸部X-P)、 注射の指示もれ確認 4.調剤薬局からの疑義照会対応窓口	1.医師の診察前に予診問診、バイタル測定を行いカルテに入力する 2.検査説明、アレルギーの確認、同意書の説明を補足し患者から 同意のサインをもらう 3.次回の受診時に定期の検査が必要なことを医師に伝える 毎回受診時に行っている採血、定期注射が指示通りオーダー入力 されているか確認する 4.外来診療が中断しないように疑義照会の対応を行う
2階病棟	1.入院の調整 2.指示の確認,報告	1.24時間重症患者の受け入れができるようにベッドコントロールを行う 2.入院患者の報告を行い、指示漏れがないよう実施する
3階病棟	1.円滑な退院調整 2.医師別レターケースの設置 3.患者・家族への対応	1.急性期病棟からの転棟で、介護調査や自宅または施設などへの退院に向けて、多職種とのカンファレンスを行う 2.医師別の確認やサイン未確認の書類を色別に分け、ファイルにインデックスを添付し、書類が分かりやすい ように整理を行う 3.転棟時、面会時などに書類の説明など実施 病状説明時に立ち合い、説明に関しての確認と、補足説明を行う
薬剤科	1.PBPM対象薬剤を増やす 2.腎機能に応じた投与量調節の処方提案 3.入院患者への特定薬剤治療管理料算定のため 血中濃度測定支援	1.採用薬を検討しPBPM対象薬を増やし医師への確認を減らす 2.処方箋に腎機能(CcrやeGFRなど)記載し監査・調剤時に利用し医師へフィードバックしていく 3.検査値履歴など参照し可能な場合血中濃度測定を依頼する
放射線科	1.読影に対する医師負担軽減 2.検査オーダーによる他職種への負担軽減	1-1.胃バリウム検査の一次読影 1-2.読影に対する症状追記(CT・MRI) 1-3.緊急時における主治医報告(急性期所見・撮影法・追加検査の進言・提案) 2-1.オーダー変更時や追加撮影の代行入力 2-2.紹介検査の診療情報提供書の代行入力
透析・ME科	1.手術・カテーテル対応におけるサポート 2.透析治療における情報共有	1-1.内視鏡カメラに置ける術野確保 直接介助・間接介助における医師の補助 1-2.カテーテル治療における医療機器の介助と提案 スムーズな治療対応 2-1.透析患者の穿刺におけるサポート 2-2.患者の血液データ等の提供と情報共有
検査科	1.検査結果の迅速な報告 2.結果報告書改善(前年度からの継続)	1.検体検査・生理検査ともに検査開始から報告までの時間を短縮し、診察をスムーズに行えるように 2.結果報告書の改善を行い、より見やすい報告書にしていく。
リハビリテーション科	1.依頼漏れ対策 2.依頼箋(医療部門、介護部門) 3.実施計画書 4.リハ情報 5.NST, SST 6.VE VF	1.ToDo機能を使った検討依頼を行う 2.依頼についての相談受けを行う。依頼された場合に、依頼箋が算定できる形に修正を行う。(病名、起算 日、リスク、目標設定等) 3.全例の計画書説明(本人、家族)を行う 4.カルテ記載及びカンファレンスにて、リハ専門職の見地から経過報告を行うほか、IC等でリハ経過、予後について 可能な範囲で説明を行う 5.NST, SSTへ参加し、チーム医療による業務負担軽減を図る 6.VE VF時の評価補助を行う
医事課	1.初診時及び予定外診察時の予診の実施 2.入院時案内業務 3.予約業務補助	1.初診時に体調等の問診票を記入して頂き、診療科へ案内する 予定外での受診時に体調等の問診を行い、診療科へ案内する 2.入院決定後の入院案内の説明 (必要事項をまとめたパンフレットより、アメニティ、地ケア病棟) 3.診察・検査等の予約サポートを受付予約センターで実施
総務課	1.当直回数の軽減 2.時間外労働時間の削減 3.連続当直に対する配慮 4.予定手術前日の夜勤に対する配慮	1.月平均4回を目標 2.常勤医師が増加したことによる時間外労働時間の経過観察と評価 3.連続当直を行わないシフト体制の維持 4.予定手術前日に夜勤を行わない体制の維持
医師事務	1.書類作成を行う 2.紹介患者に対する紹介元への返書管理 3.退院サマリー作成を行う 4.NCD登録、がん登録を行う 5.外来診察のサポート業務	1書類依頼受付から14日以内に85%を目標とする 2.患者支援センターが作成している電子カルテの紹介一覧を基に 1ヶ月以内にお返事作成を行う 3.医師退院サマリー作成を退院後14日以内に行う 4.NCD、がん登録を各期日内に行う 5.電子カルテの操作補助、可能な範囲での代行入力を行う